

雀宮東小学校地域協議会だより

すなおで かしく くましく 責任果たす ひがしの子
地域に根ざした活力ある学校づくりの推進 未来を拓くたくましい宮っ子の育成



第31号
令和3年11月発行

宇都宮市及び本校における「GIGAスクール構想」の実現とは・・・

「GIGAスクール構想」とは、子供たちに一人1台のパソコンと、学校に高速インターネット環境を整備し、子供たち一人一人に応じた新たな学びを実現させるものです。

宇都宮市では、一人1台端末を活用した学習活動をSTEP1～3の段階に分け、各段階で目標を設定することで、「多様な子供たちを、誰一人取り残すことのない個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現すること」を目指しています。

本校においても、令和2年3月に一人1台端末が導入されたことから、これらを鉛筆やノートと同じ文具の一つとして、日常的に活用した学びを推進してまいります。

【STEP1：“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 使えるICT】

①辞書、図鑑代わりに検索サイトを活用



学習者は
知りたい情報を
進んで調べられる。

→ 情報活用能力の育成

②教科書等のQRコードからデジタルコンテンツを活用



学習者は
動画・音声の
情報も活用し
学べる。

→ 校務の効率化（教材準備）

③ワープロ、表計算、プレゼンソフトを共同編集で活用



簡単・多機能。
共同編集で
学習者の発想を
形にして発表。

→ 協働する力、課題解決力の育成

④AI型ドリル教材、映像教材を課題（宿題）、家庭学習等で活用



映像で学び、自動採点
される問題に挑戦。
自分の進度に合わせて
学習できる。

→ 校務の効率化（採点業務）

⑤苦手を補うために、特別支援の視点で活用

1人1台端末の主な特別支援機能（全ての学習者が自分で調整・活用）

◆読むこと支援

- ①音声読み上げ
- ②ハイライト表示
- ③拡大表示
- ④ふりがな表示

◆書くこと支援

- ①タイピング入力
- ②音声入力
- ③ノートの撮影、電子データ化

◆聞くこと支援

- ①ヘッドフォン活用
- ②音声メモ

◆話すこと支援

- ①音声録音・再生 等

学ぶ目的の明確化。効率的な学びへ。

→ 情報活用能力、多様性への寛容さを育成

【STEP2：教科の学びを深め、学びの本質に迫る】

①児童生徒の成果物を共有、学級で意見交換する

みんなの回答を
瞬時に共有。
コメントをつけ合う。



②自動採点されるミニテストを作成、評価に活かす

自動採点、
すぐに結果を
フィードバック
できる。



③資料や作成中のレポートを共有、完成させる

校正の記録が
残るので、
共同で質の高い
レポートが作成
できる。



【STEP3：教科の学びをつなぎ、社会課題の解決に生かす】

目指す方向性

・STEAM教育※、探究的な学びの促進
ICTを含む様々なツール、プログラミングを駆使して
課題解決

目標：次期学習指導要領を踏まえ、具体目標を設定。

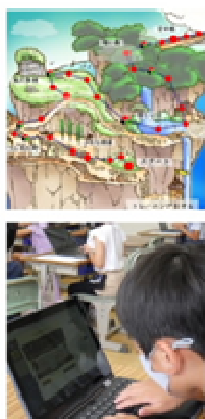
※STEAM教育

Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics等の
各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための
教科横断的な教育。





Chromebook（クロームブック）を使った、新しい学びが始まります！



様々な学習の中で、キーボード入力スキルが身に付いている場合は、文章を入力しながら自分の課題に沿って考えながら取り組むことが可能となります。そこで、朝の学習の時間にキーボード入力の練習を始めました。



4年生の算数で、けがに係る棒グラフを、Google Classroomを活用して学級全体で共有して考えたことで、複数のグラフを比べながら、自分たちのクラスのけがの現状や特徴、傾向、原因等について考察を深めることができました。また、Jamboardを活用してグラフの着目した個所や考えたことなどを記入しながら、自分の考えや根拠をまとめたり、友達と意見を交流したりすることができました。



Google Meetを使ってビデオ会議が実施されました。



お気に入りの昆虫を選び、ピンチアウト（拡大）、ピンチイン（縮小）、フリック（回転）の操作を画面上で上手に使いながら、細かいところまで昆虫の特徴を良く捉えて観察していました。

5年生の算数「正多角形と円」の単元で、プログラミングを用いて正三角形のかき方を考える授業を行いました。プログラミングロボットを実際に動かすことで、主体的な取組が見られました。



宇都宮市は、子供たちの理解度に合わせて出題傾向が変わる教材ソフト「人工知能（AI）型個別学習ドリル」を全小中学校で導入しています。教職員の端末から正答率や進捗状況を確認でき、個別学習の充実が期待できます。タッチペンとイヤホンを用いて一人1台端末と組み合わせて使うことにより、個別学習ドリルを活用した朝の学習の時間を充実させ、子供たちの基礎学力の向上を図ります。

